

令和8年4月 定例記者会見について

日 時：4月2日(木) 午前10時30分～

会 場：大仙市役所 大曲庁舎3階 大会議室

《会見内容》

NO.	内 容	開催日等	担 当
1	「第3次大仙市総合計画」の策定について	-	総合政策課
2	「大曲の花火 -春の章- 新作花火コレクション2026 & 世界の花火・日本の花火」について	4月25日	花火産業振興課
3	地域おこし協力隊員の着任について	4月1日	広報広聴課
4	友好交流都市・韓国唐津市との文化交流事業について	4月11日 ～13日	観光交流課
5	春の桜イベントについて	4月11日～	観光交流課

《その他資料》

NO.	内 容	担 当
1	4月の主な行事予定表	広報広聴課

次回記者会見の日程[予定]

令和8年5月 定例記者会見 5月1日(金)午前10時30分～

問い合わせ-----

大仙市企画部広報広聴課

e-mail:kouhou@city.daisen.lg.jp

電話:0187-63-1111(内線274) / FAX:0187-63-1119

大仙市
ホームページ



企画部 総合政策課

-新たなまちづくりの「羅針盤」-

「第3次大仙市総合計画」の策定について

新たなまちづくりの羅針盤となる「第3次大仙市総合計画」がスタートしました。

大仙市では、平成17年の誕生以来、2次にわたる総合計画と総合戦略のもと、市民の皆さんとともに「協働のまちづくり」を進めてきたところであり、多岐にわたる取り組みは一定の成果として発現していますが、一方で、人口減少の進行等に伴う課題の顕在化や深刻化に加え、社会経済情勢の変化とともに本市を取り巻く環境は大きく変化しています。

このたびの総合計画では、こうした変化や課題を踏まえ、「人口ビジョン」と「総合戦略」を一体化して実効性を高めるとともに、バックカスティングの手法や、アンケートを通じて伺った中高生や市民の皆さんの声を取り入れながら、将来のあるべき姿を描いたうえで、その実現に向けて今なすべき具体的な手立てを示しています。

新たなまちづくりの羅針盤のもと、市民の皆さんと手を携え、まちの現状や課題などを共有しながら、「ふるさと大仙」の未来を切り拓き、持続可能な「協働・共創のまちづくり」に取り組んでまいります。

- | | |
|-----------------|---|
| ■位置付け | だいせんまちづくり基本条例に基づき、まちづくりの基本的な方向性を総合的に示す、市の最上位計画。大仙市人口ビジョンとまち・ひと・しごと創生法に基づく「地方版総合戦略」を包含し、一体的に策定。 |
| ■構成と期間 | 「基本構想」「基本計画」「実施計画」の3層構造とする
【基本構想】10年間 【基本計画・実施計画】前期・後期それぞれ5年間 |
| ■目標人口 | 「出生数の増加」と「社会増への転換」により人口を定常化させ、令和52年に36,000人の人口を確保することを目指す。 |
| ■将来都市像 | 人が活き 人が集う 夢のある田園交流都市 |
| ■分野横断的に重視する視点 | 1 若者・女性に選ばれるまちづくり
2 DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進
3 市民の Well-being(ウェルビーイング)向上 |
| ■重点戦略
(総合戦略) | 1 若者や女性に選ばれ、住みよさを実感できるまちづくり
2 地域資源のポテンシャルを最大限活用し、稼ぐ力を高めるまちづくり
3 人や企業に選ばれ、新たな人の流れを生むまちづくり
4 DX・GXにより誰もが豊かに暮らせるまちづくり |
| ■基本目標 | 1 魅力ある産業と地域資源により、にぎわいがあふれるまち
2 地域の活力を生み、誰もがいきいきと活躍できるまち
3 誰もが安全・安心で、幸せに暮らせるまち
4 豊かな自然を守り、快適な住みよいまち
5 地域と共に創る、未来に続く持続可能なまち |



第3次 大仙市総合計画

概要版

2026-2035 令和8年度-令和17年度

計画策定の趣旨

大仙市は平成17年3月22日に8市町村が合併して誕生し、これまで2次にわたる総合計画のもと、「市民と行政との協働のまちづくり」を旗印に、将来都市像の実現に向けてまちづくりを進めてきました。平成28年には大仙市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、人口減少社会を見据えながら「攻め」と「守り」の両面から、「人口減少の抑制」と「地方創生の実現」に向けた取組を推進してきました。

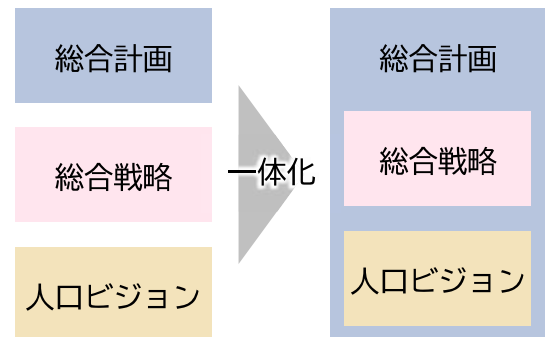
両計画を一体として、各種取組を重層的に展開してきたことにより、農業の担い手確保やスマート農業の普及、創業支援や企業誘致による仕事の場の確保・充実、子ども・子育て支援の充実、若者がチャレンジできる環境づくりなどが進んでいます。さらに、花火産業構想やSDGs未来都市計画、ゼロカーボンシティの推進、行政サービスのデジタル化なども着実に進捗しており、国立社会保障・人口問題研究所（以下「社人研」）の推計において人口減少スピードの緩和がみられるほか、近年は社会減の縮小も確認できるなど、一定の成果が現れています。こうした成果に加え、大仙市の誕生から20年を経過した現在、市としての一体感が深まるとともに、市民主体の活動が活発化するなど、将来都市像に一步一步着実に近づいているものと捉えています。

その一方で、人口減少や少子高齢化の進行、物価高騰や自然災害への対応、価値観の多様化など、本市を取り巻く環境は大きく変化しています。こうした変化や課題に的確に対応し、不確実性が高まる時代を切り拓き、このまちの当事者である私たち一人ひとりが、まちの現状や課題、将来都市像を共有しながら、共に持続可能なまちを創り上げていくため、新たなまちづくりの羅針盤となる「第3次大仙市総合計画」を策定します。

計画の位置付け

総合計画は、だいせんまちづくり基本条例に基づき、市の将来都市像を定め、その実現に向けたまちづくりの基本的な方向性を総合的に示す、市の最上位計画です。

第3次大仙市総合計画では、「大仙市人口ビジョン」とまち・ひと・しごと創生法に基づく「地方版総合戦略」を包含し、一体的に定め、役割や位置付けを明確にするとともに、人口減少の抑制と地方創生の実現に向けた施策の重点化を図りながら、効果的かつ効果的な計画の推進につなげていきます。



計画の構成と期間

年度	令和8 (2026)	令和9 (2027)	令和10 (2028)	令和11 (2029)	令和12 (2030)	令和13 (2031)	令和14 (2032)	令和15 (2033)	令和16 (2034)	令和17 (2035)
基本構想	目指すべき将来都市像とその実現に向けた基本的な方向性などを示すもので、まちづくりの長期的なビジョンとして、市民と共有するものです。									
	10年間(令和8～17年度)									
基本計画	基本構想に掲げる将来都市像を実現するため、中長期的な施策や取組を体系的に示すもので、社会経済情勢に対応するため必要に応じて見直しを行います。									
	前期5年間(令和8～12年度)					後期5年間(令和13～17年度)				
実施計画	基本計画に基づいて実施する個別具体の事業を示すもので、予算との整合・連動を図りながら、毎年度、各事業の評価・検証を行い、必要な見直しを行います。									
	前期5年間(令和8～12年度)					後期5年間(令和13年～17年度)				

大仙市を取り巻く変化と課題

人口減少と少子高齢化の進行

本市は人口減少と少子高齢化が全国よりも早いスピードで進行しており、社会保障関係費などの負担増大に加え、生活基盤や地域経済、コミュニティなどへの影響が懸念されています。人口増加を前提とした仕組みや制度を、人口減少を前提としたものへと作り変え、地域の寛容性や包摂性を高めながら、若者や女性に選ばれ、誰もが健康で幸せに暮らせるWell-being(ウェルビーイング)にあふれたまちづくりを進めていく必要があります。



デジタル技術の急速な進展

コロナ禍を契機に社会全体でデジタル化が進み、私たちの暮らしに豊かさと快適さをもたらしています。デジタル技術は、人口減少社会に対応した持続可能なまちづくりに不可欠であり、高齢者を中心としたデジタルデバイドに配慮しながら、まちづくりの重要な基盤として積極的に活用していく必要があります。

感染症や災害などのリスクへの対応

コロナ禍は市民生活や経済活動に大きな影響を及ぼし、様々な課題を浮き彫りにしました。また、近年、自然災害の激甚化・頻発化に加え、クマ被害も新たなリスクとして認識されています。こうした様々なリスクに対し、自助・共助・公助の連携のもと、ハード・ソフトの両面から対策を進めていく必要があります。

脱炭素化への転換とGXの推進

異常気象の発生要因となっている地球温暖化への対策は、私たちの生活に直結する大きな課題であり、今や企業活動に欠かせない要素となっています。経済と環境の両立による持続可能な地域社会の構築に向け、一人ひとりが自分事として捉え、問題意識を共有しながら市全体で取組を進めていく必要があります。



持続可能なまちづくりの推進

SDGsの理念のもと、持続可能な地域社会の実現が求められています。本市では、SDGs未来都市計画のもとで各種取組を進めていますが、急速な人口減少に伴い、あらゆる資源の制約や地域課題の深刻化が懸念されています。市民との協働・共創やデジタル化をさらに進めるとともに、効率的な行財政運営に努めながら持続可能なまちづくりを進めていく必要があります。

不安定な世界情勢と地域経済への影響

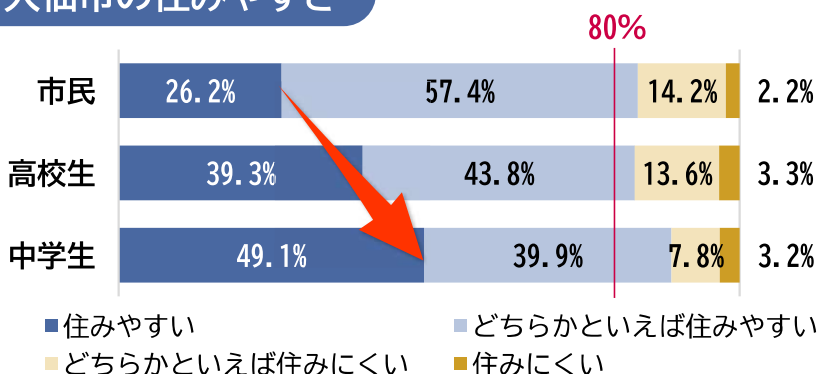
地政学リスクの高まりは、地域経済や市民生活に大きな影響を及ぼしています。経済のグローバル化が進展する中で常に内在するリスクと捉え、中長期的な視点でレジリエンスの高い経済基盤の構築に取り組むとともに、こうしたリスクに対する企業の動向を踏まえた戦略的な企業誘致を展開していく必要があります。

価値観やライフスタイルの多様化

社会の成熟化に伴い、人々の価値観や働き方が多様化しており、家族や地域社会の形も変化しています。こうした変化を柔軟に受け入れ、若い世代のニーズも的確に捉えながら、多様な価値観を尊重し、理解し合い、互いに支え合える包摂的な地域社会を形成していく必要があります。



大仙市の住みやすさ



8割以上の方が、大仙市は住みやすいまちであると感じています。
(「住みやすい」+「どちらかといえば住みやすい」の割合)

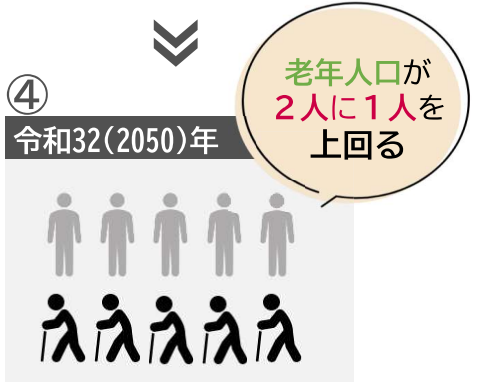
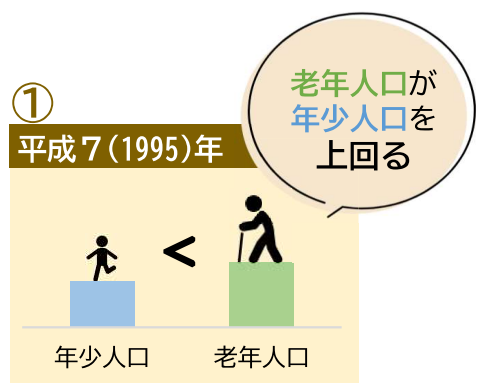
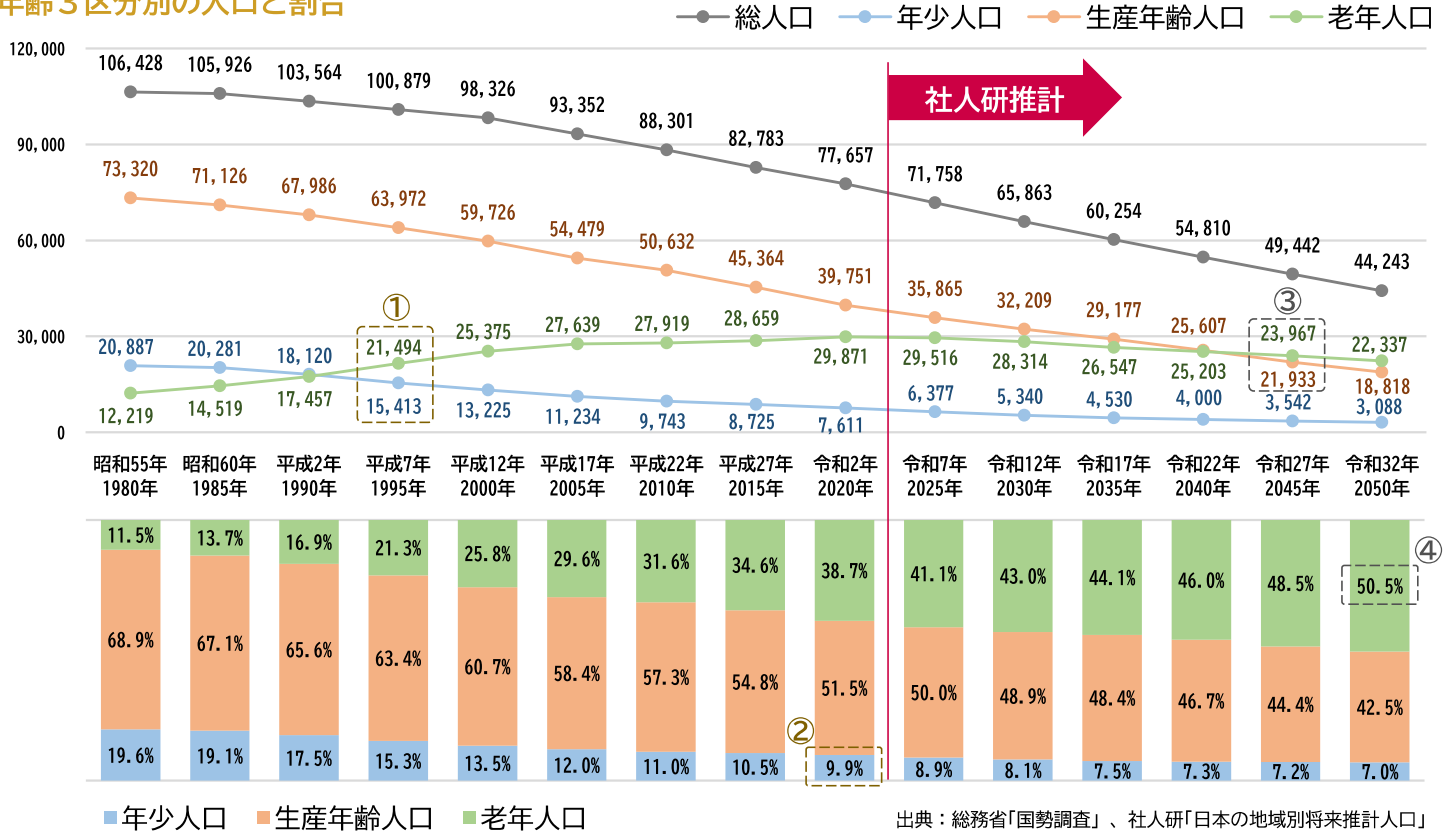
年齢が若いほど「住みやすい」の割合が高くなっています。

中学生では約50%

Ⅱ 人口ビジョン

人口推移・推計

年齢3区分別の人口と割合

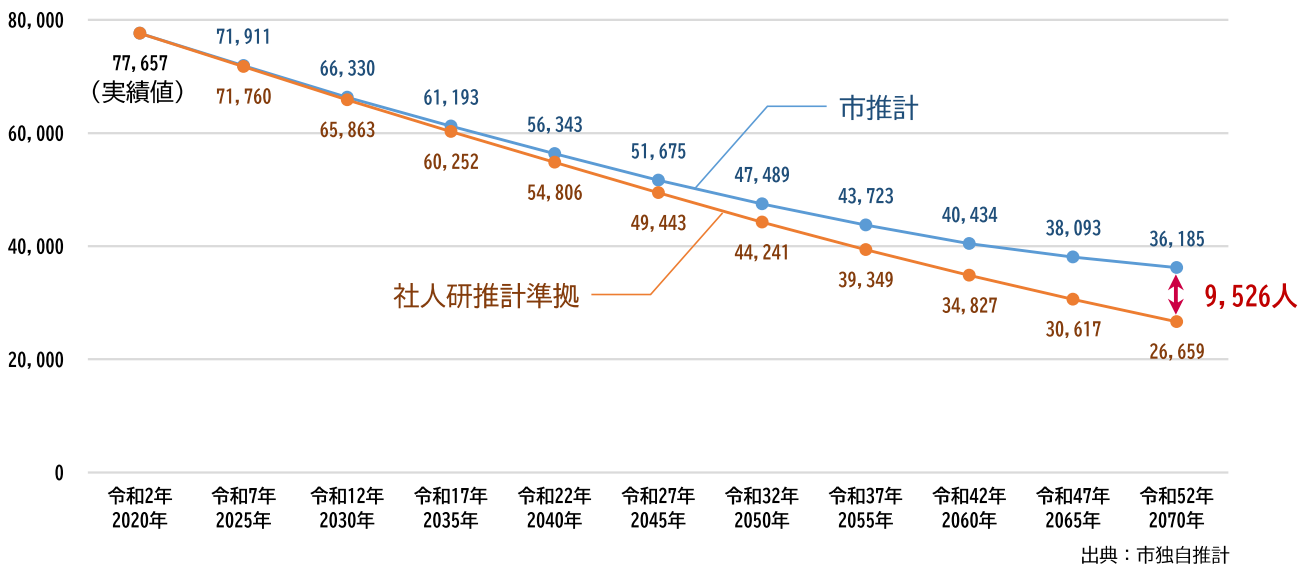


過去 現在 未来(推計)

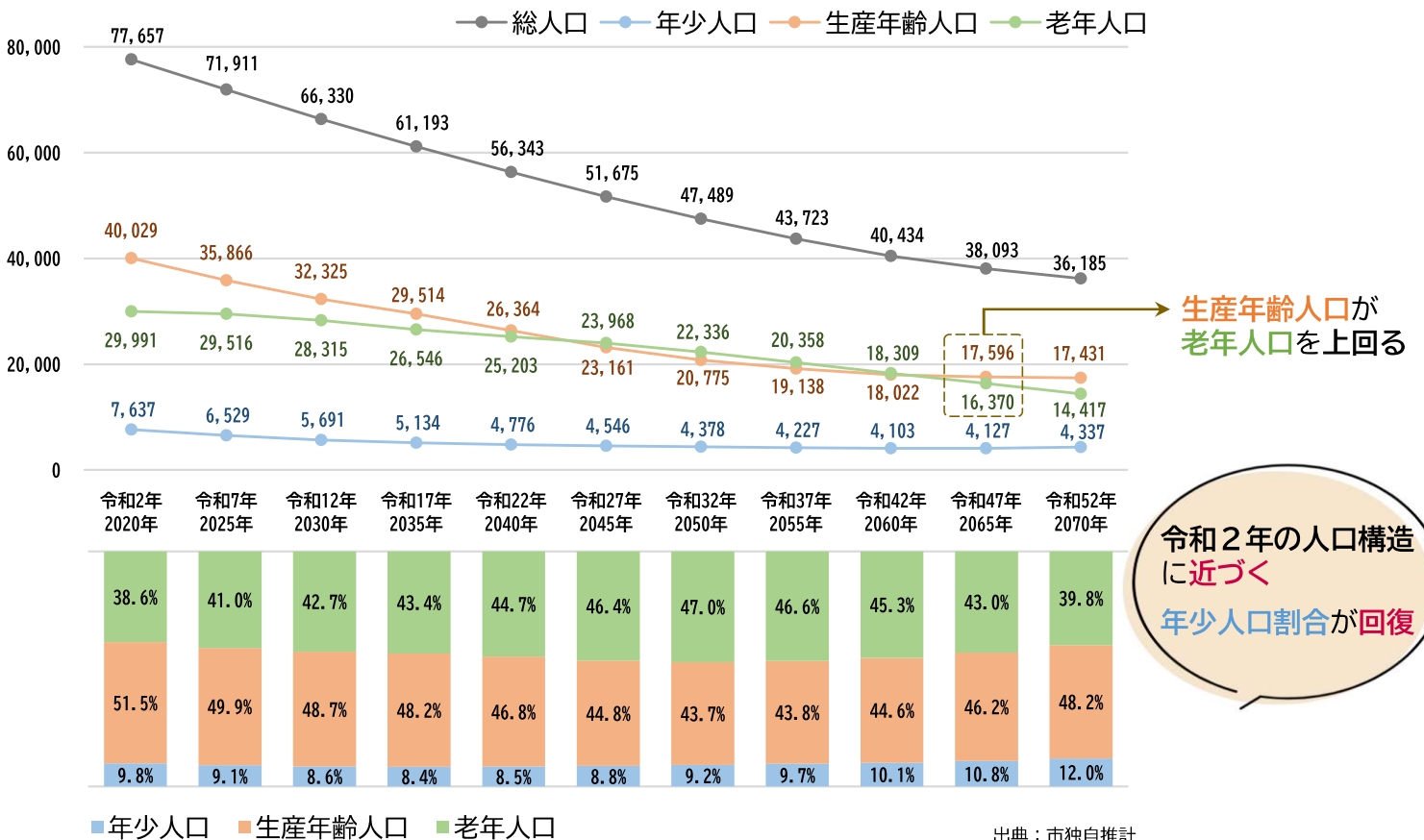
人口の将来展望

将来展望 「出生数の増加」と「社会増への転換」により人口の定常化を目指します

目標人口 令和52(2070)年に36,000人の人口を確保することを目指します



年齢3区分別の人口と割合 (市推計)



Ⅲ 基本構想

将来都市像

人が生き 人が集う 夢のある田園交流都市

- 若者や女性をはじめ多くの人から選ばれ、市内外から多様な人々が集い、世代や地域を越えた多彩な交流や地域との多様な関わりが生まれ、にぎわいと魅力があふれるまちになっています。
- 連綿と受け継がれてきた豊かな自然や伝統文化が将来にわたり継承されるとともに、生活基盤の最適化とデジタル技術の活用が進み、自然環境・田園との調和が図られた安全・安心に暮らせる利便性の高いまちになっています。
- SDGsの理念やWell-being(ウェルビーイング)の視点を取り入れながら、市民参画と「協働・共創のまちづくり」が進展し、心身ともに豊かに暮らすことができ、誰もが自分らしく活躍し夢を描くことができる、未来に向けて持続的に発展するまちになっています。

分野横断的に重視する視点

- ①若者・女性に選ばれるまちづくり
- ②デジタルトランスフォーメーションの推進
- ③市民のウェルビーイング向上

基本目標 1
魅力ある産業と地域資源により、
にぎわいがあふれるまち

基本目標 2
地域の活力を生み、
誰もがいきいきと活躍できるまち

基本目標 3
誰もが安全・安心で、
幸せに暮らせるまち

基本目標 4
豊かな自然を守り、
快適な住みよいまち

基本目標 5
地域と共に創る、
未来に続く持続可能なまち

重点戦略 = 総合戦略

各基本目標に掲げる施策の中から、特に「人口減少の抑制」や「地方創生の実現」に向けて高い効果が期待でき、重点的に推進すべき施策を抽出し、パッケージ化したもの

重点戦略 1

若者や女性に選ばれ、住みよさを実感できるまちづくり

重点戦略 2

地域資源のポテンシャルを最大限活用し、稼ぐ力を高めるまちづくり

重点戦略 3

人や企業に選ばれ、新たな人の流れを生むまちづくり

重点戦略 4

DX・GXにより誰もが豊かに暮らせるまちづくり

分野横断的に重視する視点

視点 1

若者・女性に選ばれるまちづくり

若者や女性の減少は、少子化に拍車をかけるばかりではなく、まちから活力や多様性を奪い、その存在自体に影響を与える可能性があります。

性別や年代などの属性で異なる価値観や考え方の違いを乗り越え、地域の寛容性や包摂性を高めながら、若者や女性が住みたい、あるいは住み続けたいと思えるようなまちづくりを進めることが重要です。

若者や女性が、地域や職場、まちづくりの場など、あらゆる場面で自由に意見を述べたり、意欲に応じて能力を発揮したりすることができる社会は、誰もが住みやすい社会でもあることから、若者・女性の視点から分野横断的に施策を推進し、選ばれる、魅力あるまちづくりを進めていきます。

視点 2

DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進

人口減少・少子高齢化が急速に進行し、将来的に地域の担い手を含めた様々な資源の制約や、新たな地域課題の顕在化が懸念される中において、人口減少社会を前提とした持続可能なまちづくりを進めていくためには、今や市民生活に深く浸透し、企業活動を支える重要な要素となっているDXの推進が欠かせません。

あらゆる分野の施策に横断的にDXの視点を取り入れることで、行政運営の効率化や市民サービスの向上はもとより、企業の競争力強化や地域課題の解決などにもつなげていきます。

視点 3

市民のWell-being（ウェルビーイング）向上

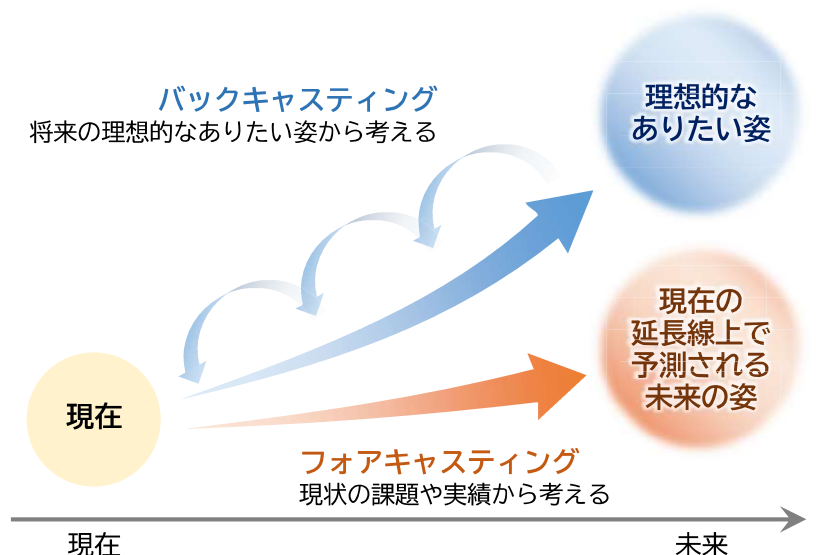
社会の成熟化に伴い幸せの形が多様化する中、特定の価値観や考え方、画一的な幸せ像の押し付けや強調ではなく、相互に理解を深めながら、地域における多様なつながりのもとで、一人ひとりの「Well-being」に寄り添うことができるまちづくりを進めていく必要があります。

Well-beingは、身体的・精神的な面だけではなく、社会的にも満たされた状態を指し、単に健康であることにとどまらず、社会的なつながりや生きがい、安心感など、様々な側面で幸福感や満足感を実感することができるよう、こうした視点を各種施策に取り入れ、分野を超えた施策の連携も進めながら、Well-beingの向上につなげていきます。

計画の推進

将来の理想的なありたい姿を描き、その姿を実現するため、未来から現在へと逆算して考える「バックカスティング」の手法により計画を推進します。

先行きが不透明で予測困難な時代において、将来の理想像の実現に向けた展望を明確にするためには、現状を踏まえて何ができるのか、あるいは何をすべきか、従来の延長線上で物事を考えるフォアカスティングから、未来志向のバックカスティングによりアプローチしていくことが重要です。



重点戦略

1

若者や女性に選ばれ、住みよさを実感できるまちづくり

人口減少と少子高齢化が急速に進行する中、地域の持続可能性を高めていくためには、性別や年代などで異なる価値観を相互に尊重し、地域の寛容性や包摂性を高めながら、若者や女性に選ばれるまちづくりを進めていくことが重要です。

様々な場面で根強く残るアンコンシャス・バイアスや、固定的性別役割分担意識を解消し、若者・女性をはじめ誰もが意欲に応じて活躍できる環境づくりを推進するとともに、出会いから子育てまで切れ目のない支援の充実に取り組みます。また、人口減少社会の進行を見据えた都市機能や生活機能が集積する拠点と、これらの拠点を連結する地域公共交通ネットワークの維持・強化や災害に強いまちづくり、地域コミュニティの維持・向上に向けた取組などを進め、誰もが住み慣れた地域で災害や生活利便性に左右されることなく、地域の支え合いのもと、生涯にわたっていきいきと安全・安心に住み続けられる地域社会を構築していきます。

こうした多分野における総合的な取組により、若者や女性に選ばれ、誰もが豊かさを実感し、暮らし続けたいと思えるまちづくりを進めていきます。



戦略パッケージ

- ① 若者や女性が活躍できる環境づくりの推進
- ② 子ども・子育てに関する切れ目のないサポートの充実
- ③ 災害に強いまちづくりの推進
- ④ 地域の支え合いによる持続可能な地域づくりの推進

重点戦略

2

地域資源のポテンシャルを最大限活用し、
稼ぐ力を高めるまちづくり

人口減少社会の進行に伴い市場規模が縮小していく中において、地域経済が持続的に発展していくためには、地域の強みや資源を最大限に活用しながら「稼ぐ力」を高めていくことが重要です。

基幹産業である農業の競争力を高め、次世代につないでいくため、担い手の育成やスマート農業などを推進するとともに、本市の強みである農業と、伝統食や食文化などの地域の豊かな食資源を核に付加価値を創出しながら、地域全体の活性化につながる取組を推進していきます。また、自社の持続可能性を高め、さらなる成長に向けて積極的に取り組む地元企業の後押しや起業支援、さらには、観光や文化、スポーツなどの地域資源を磨き上げ、異なる分野や様々な要素と有機的に結びつけていくことで、地域経済産業の振興につなげていきます。

産業の振興や地域資源を活用した取組の推進を通じて稼ぐ力を高め、若者や女性が地元で希望を抱くことができる、持続的に発展するまちづくりを進めていきます。



戦略パッケージ

- ① 未来へ躍動する「力強いだいせん農業」の実現
- ② 地域産業の振興と起業の促進
- ③ 地域資源を活かした地域活性化の推進

重点戦略 3

人や企業に選ばれ、新たな人の流れを生むまちづくり

人口減少対策に特効薬や決定打があるわけではなく、息の長い取組が必要ですが、一方で、仮に人口減少対策が功を奏し、出生率が今すぐ回復したとしても、人口減少の流れはしばらく続くため、人口減少の抑制に向けた取組と、人口が減少しても地域を維持していくための取組の両面からアプローチする必要があります。

移住・定住関連施策の充実に加え、地域の特性を活かした戦略的な企業誘致を推進し、地域経済産業の発展と新たな雇用の創出を図ることで、移住・定住を促進していきます。また、地域の活動への参加や都市と地方を行き来する二地域居住など、多様な形で地域と関わる関係人口の創出と拡大に取り組み、地域の持続可能性の向上につなげていきます。

多様な関わりを創出しながら、地域外から人や企業を継続的に呼び込む施策を展開し、人や企業に選ばれ、新たな人の流れを創出するまちづくりを進めていきます。



戦略パッケージ

- ① 移住・定住の促進と関係人口の創出・拡大
- ② 時流を捉えた戦略的な企業誘致の推進

重点戦略 4

DX・GXにより誰もが豊かに暮らせるまちづくり

人口減少の急速な進行に伴い、様々な資源の制約が懸念される中、複雑化する行政課題や多様化・高度化する市民ニーズに的確に対応するとともに、地域において生活に必要な機能やサービスを維持し、さらには企業が持続的に成長していくためには、地域全体のDXの推進が欠かせません。また、地球温暖化を背景に世界規模で進行する気候変動は、経済活動のみならず、日常生活に直結する大きな課題となっており、私たち一人ひとりの理解と責任ある行動が求められています。

今後、急速な進行が避けられない人口減少社会を前提に、行政サービスの継続性を確保するとともに、社会経済活動や地域の生活機能、コミュニティ活動の維持に向け、地域社会全体のDXを推進していきます。また、再生可能エネルギーの導入や循環型社会の形成など、「ゼロカーボンシティ」の実現に向けた取組を進めながら、豊かな自然環境を活かし、地域経済の活性化や新たな成長につなげていきます。

DXとGXの推進により地域の持続可能性を高め、誰もが安心して豊かに暮らせるまちづくりを進めていきます。



戦略パッケージ

- ① 地域の持続発展に向けたDXの推進
- ② 「ゼロカーボンシティだいせん」の実現

魅力ある産業と地域資源により、にぎわいがあふれるまち

農林水産業や商工業、花火産業をはじめとした産業の振興に加え、企業誘致の推進や起業にチャレンジする若者や女性のサポートなどにより地域経済の活性化を図るとともに、観光やスポーツ、芸術・文化などの地域資源を活用した交流の促進を図るなど、活気とにぎわいにあふれるまちを目指します。

基本目標

1

1-1 農林水産業の振興	1-1-1 農業経営の安定化と強化
	1-1-2 農畜産物のブランド化と販売促進
	1-1-3 担い手の確保・育成と生産性の向上
	1-1-4 生産基盤整備と農地・農村環境の保全
	1-1-5 森林・水産資源の適正管理と有効活用
1-2 商工業の振興	1-2-1 地域商業の活性化
	1-2-2 中小企業・小規模事業者への支援強化
	1-2-3 企業誘致の強化
1-3 雇用・就労の促進	1-3-1 雇用・就労支援の充実
1-4 花火産業構想の推進	1-4-1 花火産業推進プロジェクトの推進
1-5 観光の振興	1-5-1 地域資源を活用した観光振興
	1-5-2 観光施設の魅力向上と最適化
1-6 スポーツの振興	1-6-1 スポーツの推進
	1-6-2 スポーツ環境の整備
1-7 芸術・文化の振興	1-7-1 芸術文化活動の促進と体験機会の創出
	1-7-2 文化財の保存、整備、活用の推進
1-8 地域間交流・国際交流の推進	1-8-1 地域間交流・国際交流の推進

地域の活力を生み、誰もがいきいきと活躍できるまち

年齢や性別などの属性に関わらず、誰もが個性と能力を発揮することができる社会づくりを推進するとともに、出会いから結婚、出産、子育てまでの切れ目のない支援の充実や、個別最適な学びを提供し、地域への愛着を育む学校教育、自律的に学び続ける生涯学習の推進、地域に活力と多様性をもたらす若者の移住・定住を促進するなど、多様な価値観を認め合い、誰もがいきいきと活躍できるまちを目指します。

基本目標

2

2-1 出会い・結婚支援の充実	2-1-1 出会い・結婚支援の充実
	2-2-1 母子保健の充実
2-2 子ども・子育て支援の充実	2-2-2 子育て支援の充実
	2-2-3 子育てしやすい環境づくり
	2-2-4 子どもの健全な育成の推進
2-3 学校教育の充実	2-3-1 教育環境の整備・充実
	2-3-2 ふるさと教育・キャリア教育等の推進
2-4 生涯学習の推進	2-4-1 生涯学習環境の整備・充実
	2-4-2 学習機会の充実と活動への支援
2-5 移住・定住の促進	2-5-1 情報発信の強化とサポート体制の充実
	2-5-2 「すまい」「くらし」「しごと」に対する支援の充実
2-6 男女共同参画・女性活躍の推進	2-6-1 男女共同参画の推進
	2-6-2 女性活躍の推進

誰もが安全・安心で、幸せに暮らせるまち

地域医療体制や社会保障制度の維持強化に加え、地域の多様な主体との連携や地域の支えあいのもとで、高齢者や障がい者などのサポート体制の充実や防災・減災対策、雪や空き家への対策を進め、誰一人取り残されることのない、安全・安心で、幸せに暮らせるまちを目指します。

基本目標

3

3-1	保健・医療の充実	3-1-1	健康づくりの推進
		3-1-2	地域医療体制の充実
3-2	社会福祉の充実	3-2-1	地域福祉の充実
		3-2-2	障がい児・障がい者福祉の充実
3-3	高齢者福祉の充実	3-3-1	地域包括ケアシステムの推進
		3-3-2	高齢者支援サービスの充実
3-4	社会保障の充実	3-4-1	国民健康保険・後期高齢者医療・国民年金制度の推進
		3-4-2	生活の安定と自立への支援
3-5	交通安全・防犯対策の強化	3-5-1	交通安全・防犯対策の推進
3-6	防災・減災対策の強化	3-6-1	地域防災力の強化
		3-6-2	消防体制・機能の強化
3-7	雪対策の強化	3-7-1	除排雪体制の強化
		3-7-2	地域協働による雪対策の推進
3-8	空き家対策の推進	3-8-1	空き家の適正管理と利活用の推進

豊かな自然を守り、快適な住みよいまち

カーボンニュートラルの推進や自然環境の保全などにより、豊かな自然を守りながら新たな成長につなげ、将来へ継承していくとともに、人口減少社会にあわせた都市基盤・インフラと公共交通の一体的な縮充、住生活環境や公園の充実を進め、自然との調和を図りながら、利便性が高く、快適で住みよいまちを目指します。

基本目標

4

4-1	カーボンニュートラルの推進	4-1-1	脱炭素化の推進
		4-1-2	循環型社会の形成
4-2	自然・生活環境の整備	4-2-1	自然環境の保全
		4-2-2	生活環境の整備
4-3	公共交通の充実	4-3-1	公共交通の維持・充実
4-4	機能集約型都市構造の形成	4-4-1	都市機能の集約と拠点づくりの推進
4-5	道路河川等の整備	4-5-1	道路・橋りょうの整備と河川の水害対策の推進
4-6	上下水道等の整備	4-6-1	安全・安心な水道水の安定供給
		4-6-2	生活排水処理対策の推進
4-7	住環境、公園、緑地の整備	4-7-1	住環境の整備
		4-7-2	公園・緑地の整備

地域と共に創る、未来に続く持続可能なまち

地域の魅力を市内外に広く発信するシティプロモーションを推進し、多様な人材の多彩な関わりを創出するとともにシビックプライドの醸成を図り、市民と行政との協働・共創のもとで地域コミュニティの維持・活性化に取り組むほか、DXの推進や限られた行財政資源の有効活用による効率的な行政経営に努めるとともに、公民連携をはじめとした多様な主体と連携しながら、未来に続く持続可能なまちを目指します。

基本目標

5

5-1	シティプロモーションの推進	5-1-1	地域の魅力の掘り起こしと情報発信の強化
5-2	地域活動の維持・活性化	5-2-1	市民・地域団体の活動への支援と活性化
5-3	市民や多様な主体との協働・共創	5-3-1	協働・共創のまちづくりの推進
		5-4-1	行政サービス改革と自治体DXの推進
5-4	行財政運営の効率化	5-4-2	人材の確保・育成と働き方改革の推進
		5-4-3	健全で持続可能な財政運営
		5-4-4	公共施設の適正管理と効率的な運営

大仙市民憲章

わたくしたちのまち大仙市は、豊かな自然と広大な田園に囲まれ、先人のたゆまぬ努力によって栄えてきた歴史あるまちです。わたくしたちは、この貴重な遺産や自然の恵みに感謝し、市民一人ひとりが誇りと責任を持って、いきいきと暮らせる一〇〇年都市をめざして、ここに市民憲章を定めます。

- 一 自分を高め 心を寄せ合い ぬくもりのあるまちをつくります
- 一 ふるさとを愛し 緑の山河を守り 美しいまちをつくります
- 一 きまりを大切に 力を合わせ みんなで働くまちをつくります
- 一 健康に努め 家族を思いやり 笑顔の輝くまちをつくります
- 一 歴史を見つめ 伝統に学び 文化の花咲くまちをつくります

平成二十二年三月二十二日制定

大仙市の花・木・鳥

コスモス



ケヤキ



カワセミ



大仙市は、令和7年3月22日に誕生から20周年を迎えました
これからも、次の20年、そして50年と
未来に向けて持続可能なまちづくりを進めていきます

第3次 大仙市総合計画 【概要版】

令和8年3月

発行 大仙市 / 編集 企画部総合政策課

〒014-8601 秋田県大仙市大曲花園町1番1号

TEL 0187-63-1111 FAX 0187-63-1119

ホームページ

<https://www.city.daisen.lg.jp/>





-若き才能が描く新作と世界の花火の競演-

「大曲の花火-春の章-新作花火コレクション 2026 & 世界の花火・日本の花火」について

令和8年の「大曲の花火」が4月25日「春の章」からスタートします。

全国の新進気鋭の若手花火作家による競技大会である「新作花火コレクション2026」と、2024年のモンテリオール国際花火競技大会で金賞を受賞したフランスの ARTEVENTIA (アルテヴェンティア社)演出による「世界の花火と日本の花火のコラボレーション花火」など、花火シーズンの幕開けにふさわしい、多彩な花火をお楽しみいただきたいと思います。

また、花火大会の開催にあわせ、バラエティ豊かな関連イベントが多数開催されます。「花火のまち」大仙市での滞在を、たくさんの方にお楽しみいただきたいと思います。

1 大曲の花火-春の章- 新作花火コレクション2026 & 世界の花火・日本の花火

■日 時 4月25日(土) 午後7時～8時30分(開場は午後4時予定)

■会 場 「大曲の花火」公園(大曲雄物川河畔)

■内 容

- オープニング花火
- 競技花火「新作花火コレクション2026」(18人)
 - 芯入割物の部 10号1発
 - 新作花火の部 4号10発、5号8発
- インターバル花火(地元業者)
- 第97回全国花火競技大会 夜花火優勝者 特別番組
 - 10号(芯入・自由) 野村花火工業株式会社
 - 創造花火 株式会社小松煙火工業
- フィナーレ花火
 - 世界の花火と日本の花火のコラボレーション花火
(演出:フランス共和国 ARTEVENTIA[アルテヴェンティア])

■打上発数 約8,000発

■観覧席(前売り券) 【イス席】 1人 7,000円 (税込)

【テーブル席】(4人まで)1セット 30,000円 (税込)

【カメラマン席】 1人 10,000円 (税込)

■観覧席(当日券) 【イス席】 1人 8,000円 (税込)

【テーブル席】(4人まで)1セット 32,000円 (税込)

■有料駐車場 【観覧会場内】 1台3,000円(税込)※観覧席券購入者専用

【大曲技術専門校】 1台 2,000円 (税込)

■無料駐車場 ・大仙市役所大曲庁舎 ・大仙市役所西隣

・はなび・アム南隣 ・大曲市民会館

■詳細 「大曲の花火」公式サイト 春の章情報ページ

<https://www.omagari-hanabi.com/overview/spring>



特設サイト

2 花火伝統文化継承資料館「はなび・アム」 大曲の花火-春の章-関連イベント

(1) 健幸はなびウオーキング in 春の章

はなび・アム職員の解説を聞きながら「大曲の花火」ゆかりの場所を巡るウオーキングを開催します。参加者全員に健幸ポイント 50 ポイントプレゼント。

- 日時／4月25日(土)午前9時～10時30分
- 集合場所／はなび・アム 正面駐車場
- コース／はなび・アム→諏訪神社
→「大曲の花火」公園周辺
→はなびの小路→はなび・アム(約4km)
- 定員／先着20人
- 申し込み期間／4月3日(金)から23日(木)まで
- 参加費／無料
- 持参するもの／活動量計(右写真)
※ お持ちでない方は、健幸まちづくりプロジェクトに申し込みをお願いします。(活動量計の郵送に 2 週間かかります)



タニタ製オリジナル活動量計

(2) 第12回はなび・アム・フォーラム～FMIはなび「花火の星」公開収録

新作花火コレクションの見どころ紹介など、花火ファンの皆さんと語り合います。

- 日時／4月25日(土)午前10時30分～正午
- 会場／はなび・アム2階 大研修室
- 共催／FMIはなび
- 参加料／無料(事前申し込み不要)



(3) 花火玉の絵付け体験

世界で一つだけの花火玉を作ることができる絵付け体験を開催します。

- 日時／4月25日(土) 午前9時～午後5時
- 会場／2階第1研修室
- 参加料／無料(事前申し込み不要)



出来上がった花火玉はお持ち帰りいただけます。

(4) フォトコーナー

花火師の半纏はんてんや花火玉と記念撮影ができる
フォトコーナーです。

- 日時／4月25日(土)午前9時～午後5時
- 会場／はなび・アム別館
- 参加料／無料(事前申し込み不要)



(5) 中学生ボランティアによる「はなび・アム」の案内

大曲中学校グローバルアクト部に所属する中学生の皆さんが「はなび・アム」の館内を案内します。

- 日時／4月25日(土)午前10時～午後4時
※ 案内時間は約30分です。
- 受付／はなび・アム1階 事務室前
- 参加料／無料(事前申し込み不要)



(6) ビアム・ショップ特別販売・美味しいもの展

花火グッズや大仙市特産品の特別販売と軽食コーナーとして市内の美味しいもの展を開催します。

- 日時／4月25日(土)午前10時～午後5時
- 会場／はなび・アム 正面駐車場
- 主催／一般社団法人大仙市観光物産協会



【はなび・アムの見学時間等について】

- 「大曲の花火－春の章－」の当日は、午後6時30分まで見学時間を延長します。
- 1階のトイレは、午後9時まで開放します。

大曲の花火

OMAGARI HANABI

春の章

新作花火コレクション2026 世界の花火・日本の花火

2026.4.25(土)

19:00~20:30 (開場16時予定)

(荒天の場合、4月26日(日)、5月2日(土)のいずれかに延期)

開催会場：「大曲の花火」公園
(秋田県大仙市大曲雄物川河畔)

主催 大曲商工会議所・大仙市
後援 公益社団法人 日本煙火協会

打上発数

約8,000発

- ① オープニング花火
- ② 競技花火 (18名)
・ 芯入割物の部 10号1発 ・ 新作花火の部 4号10発、5号8発
- ③ インターバル花火 (地元業者)
- ④ 第97回全国花火競技大会 夜花火優勝者 特別番組
・ 10号 (芯入・自由) 野村花火工業(株)
・ 創造花火 株小松煙火工業
- ⑤ フィナーレ花火 世界の花火と日本の花火のコラボレーション花火
フランス共和国：ARTEVENTIA(アルテヴェンティア)
※花火内容は企画の都合により変更となる場合があります。

観覧席券

※小学生以上から観覧席券が必要となります。
※悪天候や不測の事態等により延期となった場合、払い戻しはしません。観覧席券はそのままだご利用できます。

■イス席(1人) 1席 7,000円(税込) ■テーブル席(4人まで) 1セット 30,000円(税込)

■カメラマン席 1名 10,000円(税込) 場所：観覧席後方の堤防法面 販売方法：コンビニ販売のみ ※当日販売はなし

前売り券

■販売期間

- コンビニ販売 店頭端末で購入 2026年3月3日(金)~2026年4月24日(金)
 - 大曲商工会議所 花火振興事業部 2026年3月3日(金)~2026年4月24日(金) 9:00~17:00(土日・祝日は除く)
- 大曲商工会議所でお求めの方/購入希望者は「申込書」に、必要な席数を記入していただきます。観覧席券は現金と引き換えになります。

当日券

観覧会場各入口で販売▶①花火ロード：入口1 ②大曲花火大橋側：入口2 ③姫神橋側：入口3

■イス席(1人) 1席 8,000円(税込) ■テーブル席(4人まで) 1セット 32,000円(税込)
※当日券は、前売り券で残席が発生した場合販売します。

駐車場

- 観覧会場内駐車場 1台 3,000円(税込) ※観覧券購入者専用 ※必要なのは観覧券購入と同時に駐車券をご購入ください。
- 会場外有料駐車場 大曲技術専門学校 1台 2,000円(税込) ※インターネット販売のみ
- 会場外無料駐車場 ①大仙市役所西隣 ②大仙市役所大曲庁舎 ③大曲市民会館 ④はなび・アム南隣

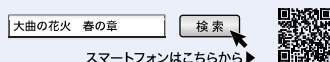
その他

- 開催可否 開催当日の午前6時まで「大曲の花火」ホームページに公開します。
<https://www.omagari-hanabi.com/>
- 観覧会場は河川敷のため体感温度は下がります。寒さ対策をお忘れなく！

「大曲の花火」公式アプリ



詳しくは公式ホームページをご確認ください。
<https://www.omagari-hanabi.com>



大曲の花火 春の章

OMAGARI HANABI

新作花火コレクション2026 世界の花火・日本の花火

駐車場 交通規制図

4月25日(土)

道路に車を停めての観覧はおやめください



予約バス駐車場は、申込み状況により一般駐車場になる場合があります。右側記載「大曲の花火」安全部会公式SNS(X)にて、ご確認ください。

駐車場の満空状況や交通規制などについての最新情報はこちら

「大曲の花火」安全部会

@HanabiOmagari

注意事項

- 観覧会場への入場は16時からとなります。●小学生以上は観覧席券が必要。小学生未満は保護者同伴に限り入場可。小学生未満でも席が必要な場合は観覧席券が必要。●観覧席券を紛失した場合や確認ができない場合は入場をお断りします。観覧席券の再発行はしません。●安全・安心のため会場内外では係員の指示に従ってください。●会場は河川敷のため寒くなるのが予想されます。防寒具などの寒さ対策をお忘れなく。●会場内は指定の場所以外では禁煙です。喫煙は指定の場所をお願いします。●暴力団および暴力団関係者の入場はお断りします。●大会は雨天決行ですが、お客様の安全が確保できないほどの悪天候等となった場合、4月26日、5月2日のいずれかに延期開催になります。その場合、観覧席券はそのまま利用いただけます。悪天候や不測の事態等により順延となった場合、払い戻しはしません。順延または延期開催になった場合、実行委員会から個人連絡はしませんので、実行委員会にお問い合わせいただくかホームページでご確認ください。自己都合で観覧席券を利用されない場合でも返金はしません。●大会中止の場合を除き観覧席券の払い戻しは出来ません。●観覧席券の転売を禁止します。観覧席券が購入者以外に転売された場合、一切責任は負いません。●一脚・三脚(卓上ミニ三脚を除く)等のカメラ類を支持する機材を使用した撮影行為は、カメラマン席以外では禁止します。●自転車等での乗り入れ、犬・小間わすペット類の持込み(盲導犬は可)、カート/台車/ドローン/火気器具/テント/テーブル/イス/レーザーの使用を禁止します。また、福祉具(車イス等)の預かりも出来ません。●立見や通路での観覧など、他のお客様の迷惑になる場合は観覧席から退場いただく場合があります。●カサの使用は周りの方に配慮してください。レインウェアのご使用をおすすめします。●野外イベントの為、急激に天候が変化して足場が悪くなる可能性があります。靴・服装の汚れ対策は、各自でご準備ください。花火打上げ中は風向き等により「花火の燃えカス・ガラ、染料」が降ってくる場合があります。靴・服に付着すると、場合によっては、シミになります。汚れても良い服装でご来場ください。



-経験やスキルを地域の活性化に-

地域おこし協力隊員の着任について

4月1日付けで、地域おこし協力隊員1人が新たに着任しました。

大仙市では、これまで移住・定住の促進に向けた活動を中心に、平成28年度から14人の地域おこし協力隊員を採用しています。

このたび、新たに着任した隊員は、おもに市内外の方に市の魅力を広くPRするため、細やかに地域取材し、取材で得た情報をわかりやすく移住者の視点を交えながら、ホームページやSNS等で発信するなどの活動を行います。

新たな隊員が持つ経験やスキル、視点を存分に生かし、地域情報の発信力強化を図るとともに、先輩隊員たちと連携し、さまざまな取り組みを実施することで、市の課題解決や活性化、にぎわい創出など、市にとってプラスの効果をもたらす存在・活動になることに期待を寄せています。

広報広聴課 所属

- | | |
|--------|--|
| ■ 隊員情報 | はやし
林 菜々 (38歳) ※神奈川県茅ヶ崎市より転入 |
| ■ 活動内容 | シティプロモーションに関する活動 <ul style="list-style-type: none">○ 市内の人やモノ、自然、イベントなどを移住者(協力隊)の目線で取材○ 取材で得た情報をもとに自身の想いを織り交ぜ、市内外に向けて市の魅力やトピックスとして市ホームページやSNS等から発信○ 上記のほか、隊員が企画する「シティプロモーション」を推進する事業の実施 |
| ■ 任用期間 | 4月1日から令和9年3月31日まで(更新あり) |



-「機池市綱引き祭り」への参加で交流を深める-

友好交流都市・韓国唐津市との文化交流事業について

大仙市と韓国唐津市は、「刈和野の大綱引き」と同様の綱引き文化を通じ、2007(平成19)年に「友好交流に関する協定」、2015(平成27)年に「友好交流増進協約」をそれぞれ締結しました。これまで綱引きによる文化交流のほか、中学生同士の青少年交流などの相互交流を継続しています。

今回は、市長、議長、刈和野大綱引保存会が唐津市を訪問し、ユネスコ無形文化遺産登録されている「機池市綱引き祭り」に参加して交流を深めます。また、本年度実施する青少年交流事業並びに令和9年度に計画する友好交流20周年記念行事に関する意見交換などを行う予定としています。

- 訪問先 韓国 唐津市
- 訪問団 老松市長、後藤市議会議長、刈和野大綱引保存会、市職員
- 訪問期間 4月11日(土)から13日(月)まで
- 内容
 - 「機池市綱引き祭り」への参加
 - 令和8年度青少年交流事業並びに令和9年度友好交流20周年記念事業に関する意見交換
- これまでの交流実績
 - 令和7年4月には、唐津市で開催された「機池市綱引き祭り」に大仙市訪問団が招待され、交流している。また令和8年2月には、唐津市訪問団9人が「刈和野の大綱引き」を体験した。
 - 青少年交流事業については、令和5年度に唐津市の中学生が西仙北中学校を訪問交流したほか、農業体験やJR大曲駅の花火通り商店街の街歩きをしている。

綱引き交流	唐津市への訪問 9回	唐津市からの来訪 7回
青少年交流	唐津市への派遣 5回	唐津市からの受入 5回



観光文化スポーツ部 観光交流課

-だいせんで春を楽しもう-

春の桜イベントについて

本市には桜の名所が多数あり、まもなく各所で一斉に咲き誇ります。

今年も各地域で桜にちなんだイベントが開催される予定です。ぜひ足をお運びいただき、「だいせんの春」を大いに楽しんでいただきたいと思います。

地域	イベント名	日時	会場	内容	問い合わせ先
中仙	なかせん 桜まつり	4月11日(土) ～30日(木)	八乙女公園 齊内川河川敷 桜アーチ街道 道の駅なかせん	桜のライトアップ 【4月18日(土)】 八乙女 YOSAKOI 祭、キッチンカー EXPO ほか	中仙支所市民サービス課 TEL 0187-56-2111
仙北	払田柵さくら ライトアップ	4月13日(月)～ 26日(日) 午後6時30分 ～9時30分	払田柵跡	払田柵跡外柵南門 と桜のライトアップ	仙北支所 地域活性化推進室 TEL 0187-63-3003
大曲	内小友 余目さくら 花火観賞会	4月18日(土) 午後7時～	余目公園地内	桜と花火のコラボレ ーション(出店あり)	内小友公民館 TEL 0187-68-2033
南外	南外桜まつり	4月25日(土) 午前10時30分 ～午後3時	南外ふれあいパーク	民俗文化の伝承(御 神楽奉納ほか)、餅 つき大会、直売所、 芸能発表ステージ	南外桜まつり実行委員会 TEL090-4885-4717
協和	協和さくら 祭り	4月25日(土) ～26日(日)	道の駅協和	桜のライトアップ(午 後6時～9時)、抽選 会、屋台イベント	道の駅協和 TEL 018-881-6646
西仙北	大佐沢公園 桜ライトアップ	4月中旬～下旬 午後6時30分 ～9時	大佐沢公園	桜のライトアップ	西仙北支所 地域活性化推進室 TEL 0187-75-2965
太田	太田黄桜 まつり	5月2日(土) 午前10時～	大台スキー場	Kizakura Hike & Coffee、アウトドア 体験、黄桜植樹ほか	太田支所市民サービス課 TEL 0187-88-1111

弘田柵さくら ライトアップ

開催期間: 令和8年4月13日(月)～
4月26日(日)

会場: 弘田柵跡外柵南門前(大仙市弘田)

ライトアップ時間: 18:30～21:30

※桜の開花状況に合わせて期間が変わることがあります

主催/史跡の里づくり委員会

【問い合わせ】仙北支所地域活性化推進室

☎ 0187-63-3003

なかせん 千本桜

桜の見頃

4月中旬
~下旬



駐車場MAP

4月18日(土) 会場:道の駅なかせん
イベントデー

- 9:00~ キッチンカーEXPO
- 11:00~ 八乙女YOSAKOI祭
- 12:30~ ドンパン踊り・民謡ショー
- 17:00~ 桜並木スペシャルライトアップショー
etc...



※イベントデー当日は駐車場が大変混み合いますので、臨時駐車場をご利用下さい。

※写真は桜アーチ街道

道の駅なかせん向い県道256号線

11:00~

ハ乙女YOSAKOI祭

県内外の演者による熱く激しいよさこい演舞!



齊内川堤他 県内のキッチンカーが勢揃い!

9:00~17:00

(一部店舗は21:00まで)

キッチンカーEXPO in 道の駅なかせん



出店者情報は
コチラを
チェック!



道の駅なかせん

- ドンパン踊り披露
- 高所作業車体験
- うさぎふれあい広場



昼の部 11:00~17:00

12:30~

民謡ショー

(ダイセン創農前広場)



夜の部(齊内川堤にて)

17:00~20:30

桜並木スペシャルライトアップショー

道の駅も夜8:30まで営業します。

大仙市中仙地域農業総合管理施設 **こめこめプラザ**

道の駅なかせん
ドンパン節の里

☎0187-56-4515

お土産・農産物直売所
18日 夜8:30まで営業

Woca

焼き菓子と
コッペパンのお店
COCO CONYです。

桜祭り限定のコッペパンや
オリジナルドリンクも
ご用意しております!

揚げたての揚げパンも
人気です!

この機会に是非一度
お立ち寄り下さい!

身体に美味しい
ダイセンのトマトジュース

合同会社ダイセン創農

お問い合わせ: ☎ 0187-439-8250

ひだまり食堂

お気軽に
お立ち寄りください

鬼がば

**Rakuten
Mobile**

おしらせ

当日は駐車場が込み合います。中仙支所駐車場をご利用ください。
シャトルバスで会場へご案内します。

中仙支所駐車場 ⇄ 道の駅なかせん ※4月18日10:30~16:00まで運行予定



第19回

2026年

内小友余目さくら花火観賞会

大仙市内小友余目公園地内

2026年4月18日 (土)

PM7時

花火観賞会

主催 内小友地区コミュニティ会議

後援 大仙市
大曲商工会議所

協賛 余目いきいき会議協議会
内小友地域森林愛護推進協議会
(株)小松煙火工業

主催◆南外桜まつり実行委員会

第12回

南外

みんなで
来てたんせ!!

年初めからの大雪に驚かされた冬も過ぎ、ふるさとなんがいも春の装いに変わって来ました。春の一日の憩いのひとときを、ご家族おそろいでお楽しみくださるよう、心よりお待ちしております。

桜まつり

会場

雨天時は南外コミュニケーションセンター
南外ふれあいパーク
ゲートボール場

日時 2026年 4月25日(土)
10:30▶15:00

軽食販売etc.

屋台・キッチンカー・直売(南外さいかい市)等
餅つき大会(餅つき体験・お餅の振る舞い)、子ども縁日

芸能発表ステージ

地元芸能団体による
民謡や踊りの披露

民俗文化の伝承

御神楽奉納ほか



駐車場のご案内

南外体育館駐車場
野球場駐車場

問合せ先 / 南外桜まつり実行委員会事務局(佐々木) TEL.090-4885-4717

協和さくら祭り

イベント開催日

4/25^土・26^日
令和8年

楽しさ盛りだくさん
イベント開催

4/25^日のみ 9時～

赤卵 or 精米 プレゼント

失着100名!

売店・クイックコーナー・外の屋台で
合計税込2,000円以上ご購入の方に
赤卵10個入か、精米2合
好きなほうを1品プレゼント

(売店・クイックコーナー・外の屋台で購入された
レシート・整理券を、抽選会場までお持ちください)

4/26^日のみ 9時～

大抽選会

売店・クイックコーナー・外の屋台で
合計税込2,000円以上ご購入の方に

1回抽選! ※景品が無くなり
次第終了となります

(売店・クイックコーナー・外の屋台で購入された
レシート・整理券を、抽選会場までお持ちください)

4/25^土・26^日

屋台祭り開催!

- ・味噌たんぼ焼き・焼き鳥
- ・ホルモン焼き・ドライフルーツ 等々

レストラン & クイック

期間限定メニュー

*春の山菜天ぷら稲庭うどん

(4/18より期間限定) ※1日限定10食

※山菜の入荷状況で、ご提供出来ない場合もあります

レストラン
にて

*酒粕デザートセット

(4/11より期間限定)

(酒粕ソフトクリームと
酒粕パウンドケーキの相性は最高です!)

レストラン
にて

*さくらソフトクリーム販売中!

(春を感じる、桜の香りをお楽しみください) ※在庫無くなり次第終了

クイック
にて



Instagramフォロワーの方は
期間中何回でもソフトクリームが **半額に!**

※スタッフにフォローの画面をお見せください。
1アカウントにつき、1個割引となります

桜 ライトアップ

(18時～21時)

※桜の開花状況によって
期間が前後します

※桜咲き始め～散るまで実施

令和8年4月 大仙市の主な行事予定表

広報広聴課

日	曜日	行事名	時間	会場
7	火	(株)ウイズ・ワンDaisenHubオープニングセレモニー (企業立地推進課)	10:00~	フォーシーズン
		市内中学校入学式[大曲中・大曲西中・大曲南中・西仙北中・中仙中・協和中・南外中・仙北中・太田中](教育指導課)	14:00~ 大曲南中・仙北中 10:00~ 中仙中・南外中 13:30~ 協和中 14:30~	各中学校
8	水	市内小・中学校入学式[太田北小・平和中](教育指導課)	太田北小 9:40~ 平和中 10:00~	各小・中学校
9	木	市内小学校入学式[大曲小・東大曲小・花館小・内小友小・藤木小・四ツ屋小・角間川小・神岡小・西仙北小・中仙小・清水小・豊成小・協和小・南外小・高梨小・横堀小・太田東小・太田南小](教育指導課)	10:00~ 内小友小…10:30~	各小学校
10	金	市内小学校入学式[大川西根小](教育指導課)	10:00~	大川西根小学校
11	土	なかせん桜まつり ※ライトアップ(中仙支所地域活性化推進室)	①17:00~20:30 ②18:00~21:00	①齊内川河川敷(18~26日)、道の駅なかせん(18日のみ)、桜アーチ街道(11~30日) ②八乙女公園(11~30日)
13	月	サケ稚魚放流式(農林整備課)	10:00~	花館字間倉州崎地内 (玉川橋下流右岸)
		払田柵さくらライトアップ[26日(日)まで] (仙北支所地域活性化推進室)	18:30~21:30	払田柵跡外柵南門前
18	土	八乙女YOSAKOI祭・キッチンカーEXPO in 道の駅なかせん (中仙支所地域活性化推進室)	キッチンカーEXPO 9:00~ 八乙女YOSAKOI祭 11:00~	道の駅なかせん
		内小友余目さくら花火鑑賞会(内小友公民館)	19:00~	内小友余目公園
25	土	「大曲の花火-春の章-」はなび・アム特別イベント ①健幸はなびウォーキング春の章②FMはなび「花火の星」公開収録③花火玉絵付け体験④フォトコーナー⑤中学生ボランティア館内案内⑥ピアム・ショップ特別販売うまいもの展(はなび・アム)	①9:00~10:30 ②10:30~12:00 ③④9:00~17:00 ⑤10:00~16:00 ⑥10:00~17:00	①諏訪神社~「大曲の花火」公園周辺~はなびの小路 ②③⑤はなび・アム ④はなび・アム別館 ⑥はなび・アム駐車場
		「日本郷家住宅」一般公開[11月15日(日)まで](文化財課)	9:00~16:00	日本郷家住宅
		「旧池田氏庭園」一般公開[11月23日(月)まで](文化財課)	9:00~16:00	旧池田氏庭園
		第12回南外桜まつり(南外支所市民サービス課)	10:30~	南外ふれあいパーク
		協和さくらまつり[26日(日)まで](道の駅協和)	ライトアップ 18:00~21:00	道の駅協和
		「クレヨンしんちゃん×大曲の花火」観光フォトスポット完成セレモニー(観光交流課)	11:00~	JR東日本大曲駅
		「NHK東北しゃべり亭出張版in大仙」公開収録(大曲市民会館)	11:30~	大曲市民会館 大ホール
		大曲の花火-春の章- 新作花火コレクション2026 & 世界の花火 日本の花火(花火産業推進課)	19:00~	「大曲の花火」公園
26	日	「大曲の花火-春の章- 新作花火コレクション2026」表彰式	10:00~	グランドパレス川端
27	月	令和8年第2回市議会臨時会(議会事務局)	10:00~	大曲庁舎3階 議場

※日程は変更となる場合があります。